

考えよう。一人一人にできること

環境について無理なく、身近にできることは何かを考え、実践をしている人がいます。

「環境家計簿」に、わが家のエコライフを記録

温暖化を防ぐための取り組みをしたい気持ちはあるけど、何から始めたらいいかわからない...そんな方におすすめしたいのが、「環境家計簿」です。つけ方はとても簡単、カレンダー形式になっている「ふくおかエコライフ応援book(福岡県環境家計簿)」に、毎月の電気、ガス、水道などの使用量を記録するだけです。1年、2年と続けるうちに、「今年は去年より電気を多く使っている」など、季節や生活状況に応じた数字の動きがわかり、「もっと節約しよう」という気持ちが自然と培われます。このように、環境家計簿はどなたでも、今日からでも手軽に始められる身近なエコ活動です。よりよい環境を将来の世代に引き継ぐためにも、一人でも多くの方に参加してほしいと願っています。



若松秋桜会
久永恵美子さん



環境局環境学習課(市役所10階)、各区役所総務企画課などで配布しています。
ダウンロードはこちらから▶

ごみ拾いを通じて、環境を大事に思うように

私たちは、ごみ拾いを通じて街をきれいにするプロジェクトに参加しています。プロジェクトの活動コンセプトは“きれいな街は人の心もきれいにする”です。週2回約1時間、幅広い世代の参加者の皆さんと会話しながらごみを拾います。参加者の中には「楽しかった!次は友達連れてくるよ」と話す人も。活動の様子を見て、「ありがとう」と笑顔で声をかけてくれる市民の方もいらっしゃいます。以前は「自分一人が何をやっても変わらない」という思いがありましたが、活動を通じて「たとえ一人でも、少しの行動でも、見ていてくれる人がいる。一緒にやってくれる人もいる」ことを実感。環境を大事にする輪が広がり、環境活動をする仲間が増えると嬉しいですね。



グリーンバード北九州チーム
園田彩乃さん(左) 弓削美里さん(右)



／ 今日から始めよう。脱炭素な暮らし ／

「脱炭素」とは、地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)などの温室効果ガスの排出量をゼロにすることです。日常生活の何気ない行動も「脱炭素」につながり、SDGs(持続可能な開発目標)の推進にも貢献します。

宅配便の再配達をなくす



宅配便はネット通販の増加に伴って年々拡大し、再配達も増える一方です。不在時に玄関前に置いてもらう「置き配」や「宅配ボックス」、スーパーに設置されたボックスやコンビニエンスストアなど、外出先で受け取るサービスなどを活用することで再配達の回数を削減できます。

【効果】再配達に伴うCO₂排出量の総量は約42万トン、実に東京ドーム170杯分に相当します。再配達を減らせば、トラックの移動距離が短くなり、CO₂排出量の削減が期待できるのはもちろんのこと、多忙なドライバーの皆さんの労働環境改善にもつながります。

ゴミの分別を徹底する



家庭ごみは週2回、資源ごみは毎週水曜日...と、日ごろから行っているごみの分別ルールを再確認し、「生ごみとプラスチック容器を一緒に捨てないようにする」など、確かな分別の徹底を心がけましょう。

【効果】「3R(リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用))」は、エコライフの基本中の基本。分別を徹底することでCO₂排出量の削減につながります。回収された資源ゴミから、リサイクル製品を作り出すこともできます。

公共交通機関を積極的に利用する



家庭からのCO₂排出量のうち、自動車の排出が約4分の1を占めます。通勤・通学や外出の際、なるべく公共交通機関の利用を心がけるほか、エコドライブの実施、カーシェアリングの利用も検討しましょう。

【効果】車の燃料消費量の4割を発進時が占めます。発進時の「ふんわりアクセル」などエコドライブによって消費量を抑え、燃料代も削減できます。また近い距離はできるだけ徒歩や自転車です。健康的な生活にもつながります。

／ シェアサイクル「ミクチャリ」のご利用を ／

「ミクチャリ」は、環境に優しい電動アシスト付き自転車です。小倉都心部にある専用駐輪場(ステーション)で24時間いつでも借りることができ、どのステーションにでも返却できます。利用には、アプリのダウンロードと会員登録が必要です。



料15分70円(最大12時間1000円)
問建設局道路維持課 ☎582・2274

アプリのダウンロードはこちら▶



ゼロカーボンにみんなで取り組むプロジェクト「KitaQ Zero Carbon」

「KitaQ Zero Carbon」とは、本市が市民・企業の皆さんと共に、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現を目指すプロジェクトです。

イベント情報を中心に、脱炭素アクションの実践につながる情報をWebサイトやSNS(登録された利用者同士が交流できるインターネット上の会員制サービス)で発信しています。

まずは、「Webサイトを見える」ことから、あなたの脱炭素アクションを始めてみませんか。



▲スマホで読み取り
ご覧ください



【この特集に関するお問い合わせ】環境局グリーン成長推進課 ☎582・2286